

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱい森

能ヶ谷西緑地だより

2025年9月1日号 234号 能ヶ谷西緑地・樹の会

【9月の予定】

- ◆9月13日（土）（雨天翌日）
 - ・花広場草刈り&道整備
 - 9月27日（土）（雨天翌日）
 - ・花広場草刈り&道整備
 - * 9:00 現地集合（9:00～11:30）
 - ◆9月6日（土）（10:00～12:00）
 - ・ヤマユリ連・手作りカフェー
- 平和台集会所
問合せ：伊藤（735-8623）
どなたでも参加自由です。
作業には汚れても良い服装でおいでください。

※※※※※※ 緑地だより ※※※※※※

7月12日（土） 晴 参加者 8名

花広場の向日葵が咲き始めたのに、花びらが美味しいのか？コガネムシに食われて悲しい有様に。『お花見が終わってからにしてほしいなあ』と、丹精込めて手入れをしているメンバーのボヤキ。ヤマユリも盛りを過ぎたが、北斜面のユリはまだ蕾をつけその姿も美しい。これで今年は見納めか。

今日のメインは桜広場の下草刈り。ヤブカラシとはよく言ったもので、この季節にアツという間にツル系の植物がはびこり、電動草刈りには厄介な代物。手刈りで丁寧に刈り取る。

桜広場西側の竹はテングスビョウにやられているものもあり、竹林の整備はまだ引き続き必要か。

花広場に実ったブラックベリーを数粒休憩途中の補給にして、後半の作業の活力に。身体に染み渡る甘酸っぱさだ。

活動後は、マチカフェ提出書類の打合せ。

（片野）



【緑地に咲く】メハジキ（目弾き）



両手を広げたように、元気に2枚ずつ出ている葉っぱ。その根元にたくさんの小さな花がついている。よく見ると、淡紅紫色で唇をぱかっと開いたような形。

名前の由来は「子どもの遊びから」。茎を切って先端をまぶたの窪みにはさみ、反対側を口にくわえて、目を見開いたり、まばたきして飛ばしたりしたそうだ。茎のしなやかさを知っている、子どもは遊びの天才である（上野）

7月26日（土） 晴 参加者12名

鶴川2小の四年生の授業で、緑地の紹介をしているが、今日はその時興味を持ってくれたMちゃんが、お父さんと一緒に作業に参加してくれた。授業では緑地の魅力などの発信をしているが、実際に来てくれたこと、とてもうれしかった。みんな心なしか作業の手も弾んでいた。もちろん、作業の後の納会への期待もあったのかも知れないが。

暑いので、早めに作業を終えて、半期の無事を感謝して、乾杯！緑地で採れた梅や野菜を使った手料理、恒例の焼きそばなど、ここでしか味わえない料理を楽しんだ。（小川）

8月30日（土） 晴 臨時作業 参加者6名

8月は作業は休みにしているが、緑地の草木はそんなこととは関係なくどんどん伸びていく。全く放置する訳にもいかないので、本日臨時草刈り作業を行った。しかし実はそれ以外の日も手が空くと草刈りをしてきている会員さんがいるようで、久しぶりのわりには整った緑地だった。

（小川）

『くさぶえあそび』

月刊かがくのとも 2024年4月号

井上大成 ぶん、中田彩郁 え (福音館書店)



皆さんは「くさぶえ」を鳴らしたことがありますか？私はくさぶえが好きで、道端にエノコログサ等のイネ科の葉をみつけると、1枚とって、両手の親指を合わせた間に

挟みます。指の第一関節と第二関節の間のすきまを強く吹いて、鳴らして楽しめます。おかしなラッパのような高い音がしますよ。

この本にはアオキ、ヒサカキ、ネズミモチ、スズメノテッポウ、ヨシ、タンポポ、イスノキの虫こぶ、ツバキのたね等のならし方が出

ています。身近にある色々な植物が、遊びの友になってくれそうです。タンポポは茎の根元に近い部分や、綿毛ができたものは避ける方が良いでしょう。吹き方を強くしたり、弱くしたり、短く吹いたり長く吹いたり…色々試してみると、面白い発見があるでしょう。

付録では、くさぶえだけでなく、ナズナやフウセンカズラ等の遊び方も載っています。音を楽しんで、暑さを忘れることができると良いですね。

(齋藤好子)

【やままゆ連・手作りカフェー】

カラムシ繊維で、作る

7月5日(土) 10:00~12:00

平和台集会所

連日の夏日ですが、60代から80代の7名が集まりました。前回採ったカラムシの繊維を使って、物作りです。

厚紙に切り込みを入れた簡易織り機での葉作りや、円形の厚紙を台紙にしたコースターは、カラムシの繊維を使って。

繊維より少し太めの麻紐でのコースター作りに挑戦する人、以前やった折り紙での紙箱作りを再挑戦する人、自宅から卓上織り機を運んできて、裂き織りをする人もいて、それぞれやりたい手仕事を楽しんだ2時間でした。

月に一度の顔合わせなので、近況を話したり、手仕事をしながら、それぞれのお喋りに耳を傾けたり、和やかな時間が過ぎていきます。

小品といえども、手仕事は集中力が必要で、なかなか上手い出来ないもどかしさもあり、ひとりでは嫌になってしまう時もありますが、

こうして仲間と話しながら続けると、不思議に楽しい気持ちになって手指も動いてくれます。やままゆ連が長らく続いているのはそのおかげなのかもしれないと、思った今回でした。

カフェ・メニュー グレープフルーツ大福

(桑原)



ポータブルの織機は便利ですね



カラムシでコースター作り
